

世界が注目するタイの若手映画監督 パット・ブンニティパット氏が来日！ 東京・青森・京都を訪問し 伝統の継承が繋ぐ日タイ次世代の対話を実現します。

国際交流基金（JF）は、2025 年 5 月 26 日（月）から 12 日間にわたり、**タイの新進気鋭の映画監督パット・ブンニティパット氏（Mr. Pat Boonnitipat）**を招へいします。

本招へいは、**日本と ASEAN 間における次世代の交流促進と人材育成**を目的とする包括的な人的交流事業「**次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー**」の一環として実施する「**文化人短期招へい事業**」によるものです。同事業は、ASEAN 諸国より各分野を代表する文化人や専門家等を日本に招へいし、日本の文化と社会を体験してもらうとともに、関係者との対話や意見交換を通して人的ネットワークを形成する取り組みです。

パット監督の長編映画デビュー作『**おばあちゃんと僕の約束**』（6 月 13 日（金）より日本公開）は、ガンを患う祖母とその遺産相続をたくむ孫との心の交流を描いた物語。その普遍的な感動は TikTok を介して本国タイでは社会現象化。さらには国境を越えて東南アジアを中心に大きな話題を呼び、タイ映画史上世界興行収入 1 位を記録、今年の米アカデミー賞国際長編映画賞ショートリストに選出されました。

いま世界が注目する才能は、日本の伝統や精神文化、技術や知の継承にも高い関心を寄せています。滞日中は、パット監督本人の希望で、映画関係者との交流のほか、**青森、京都を訪問し**、建築、工芸、食など地域で受け継がれる様々な伝統や文化、自然に触れながら、現地関係者と交流を図ります。

「タイ沼」のこぼれに代表されるように、昨今日本では、タイの多様でクリエイティブなエンターテインメント文化が話題です。現代タイカルチャーをリードするパット監督の招へいを通して、日本とタイとの継続的な交流や新たな創作活動につながることを期待します。

パット監督の滞在中、インタビューなどのご取材が可能です。ぜひ、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。



記

事業概要

事業名称：文化人短期招へい事業

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

被招へい者：パット・ブンニティパット（Pat Boonnitipat）／映画監督、脚本家（タイ）

招へい日程：2025 年 5 月 26 日（月）～6 月 6 日（金）

訪問地：東京都、青森県、京都府

使用言語：英語（必要に応じて日英通訳付き）

パット・ブンニティパット氏 略歴

1990 年生まれ。タイの新世代の映画監督、脚本家。日常の機微を描き出し、タイ国内外で記録的ヒットとなった長編映画デビュー作『おばあちゃんと僕の約束』（原題：Lahn Mah、2024 年）は、第 97 回アカデミー賞国際長編映画部門のショートリストに選出。大学時代に『**殯（もがり）の森**』（河瀬直美監督）を観て映画の持つ圧倒的な表現力に魅かれ、映画への道を志す。映画製作はほぼ独学で、**小津安二郎監督から是枝裕和監督まで多くの日本人監督から深い影響**を受けてきた。テレビドラマ・シリーズ『プロジェクト S』（2017 年）、『バッドジーニアス』（2020 年）などの監督・脚本も手掛ける。

映画以外にも、**日本の建築、伝統工芸（特に民藝運動）、文学等への関心が高い**。時代の流れのなかでも変わらないもの、かたちを変えて継承されていくものにインスピレーションを受け、「先人たちの記憶と共に調和して生きる方法を探る映画を作りたいと思った」と、『おばあちゃんと僕の約束』の制作背景に触れる。同作品は、2025 年 6 月 13 日（金）より日本全国で公開予定。新世代の監督が作り出す新たなアジア映画の潮流に注目が集まる。



『おばあちゃんと僕の約束』 6 月 13 日(金)より新宿ピカデリーほか全国順次公開

©2024 GDH 559 CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

日程（予定）

来日
5 月 26 日（月）
5 月 27 日（火） - 5 月 30 日（金） 【東京】国立映画アーカイブ、日本民藝館などにて視察、交流
5 月 31 日（土） - 6 月 2 日（月） 【青森】寺山修司記念館、三内丸山遺跡などにて視察、交流
6 月 3 日（火） - 6 月 6 日（金） 【京都／東京】魚谷繁礼建築研究所、村山木工、桂離宮などにて視察、交流

※現在、旅程の詳細を調整中です。最新情報及び取材については広報担当にお問い合わせください。

この件に関するお問い合わせ： 国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

事業について

JFは「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。

JFでは2024年から10年間にわたってASEANを中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－」を展開しています。

このプロジェクトは、2013年から約10年間にわたって数多くの交流事業をおこなった「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」を発展的に継続するもの。日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

今回の文化人短期招へい事業は、オピニオンリーダーとして高く評価される文化人を日本に招へいし、関係機関・関係者とのネットワーキング、対談、メディア取材、講演会等を通じて当該人物の知的魅力を発信するとともに本人の対日関心および理解を促進し、ASEAN諸国での対日関心喚起・親日感の醸成および日ASEAN関係の促進に向けた一助となることを目指しています。

2025年度末までに、4～5名程度の招へいを想定しています。

次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



公式サイトにてビデオレポート配信中

以上